

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 東洋紡績株式会社高砂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針…従来からの方針

環境理念として

3 C (Clean Creative and Characteristic) を基本理念として、地球、環境、人間に優しい企業となり、P L A (Product Lifecycle Assessment) に徹した商品を顧客に提供する。
自社もかけがえのない地球の上にあることを認識し、環境、安全に徹する。

環境方針として

環境保全は経営の重要課題

- ・本方針遂行のため、法規の要求事項・著しい環境側面・利害関係者の意見に基づき環境目的・目標を設定し、その実現を図り、定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。

法規制の順守

- ・環境に係わる法規制および協定等の要求事項を守ります。
- ・定常作業はもちろん、事故等の緊急時においても地域社会に迷惑をかけないように努めます。

研究開発から製品出荷及び輸送までの各プロセスにおける環境負荷の低減

- ・環境負荷の低減に配慮した製品および製造プロセスの開発に努めます。
- ・原材料の効率的な使用により省資源に努めます。
- ・廃棄物の分別とリサイクルに努めます。

教育訓練の充実と環境意識の向上

- ・協力会社を含む全従業員が環境マネジメントシステムの基本を認識し、環境方針に沿った行動を行うよう教育を行います。
- ・計画的な環境に関わる教育訓練を進め、環境保全の質を高めます。

地域との協調連帯

- ・当工場周辺の美化に努めます。

なお、本方針の開示を外部から求められた場合には公開します。

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1 - 2 東洋紡 環境活動方針

(1) 技術の開発

東洋紡グループの総力を発揮して、人と環境にやさしい技術(製品と製造プロセス)の開発に取り組み、環境対策を推進していきます。

(2) 環境保全

製品の開発から設計・製造・販売・廃棄・回収に至る全ての段階において、環境に及ぼす影響を予測し、評価し、低減し、環境保全に取り組みます。

(3) 社会への貢献

より良い地球環境の実現を目指し、事業を通じてだけでなく、良き企業市民として、社会や地域における環境保護や生物多様性保全活動への支援・参画に積極的に取り組みます。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

E M S (環境マネジメントシステム) 実行組織図参照

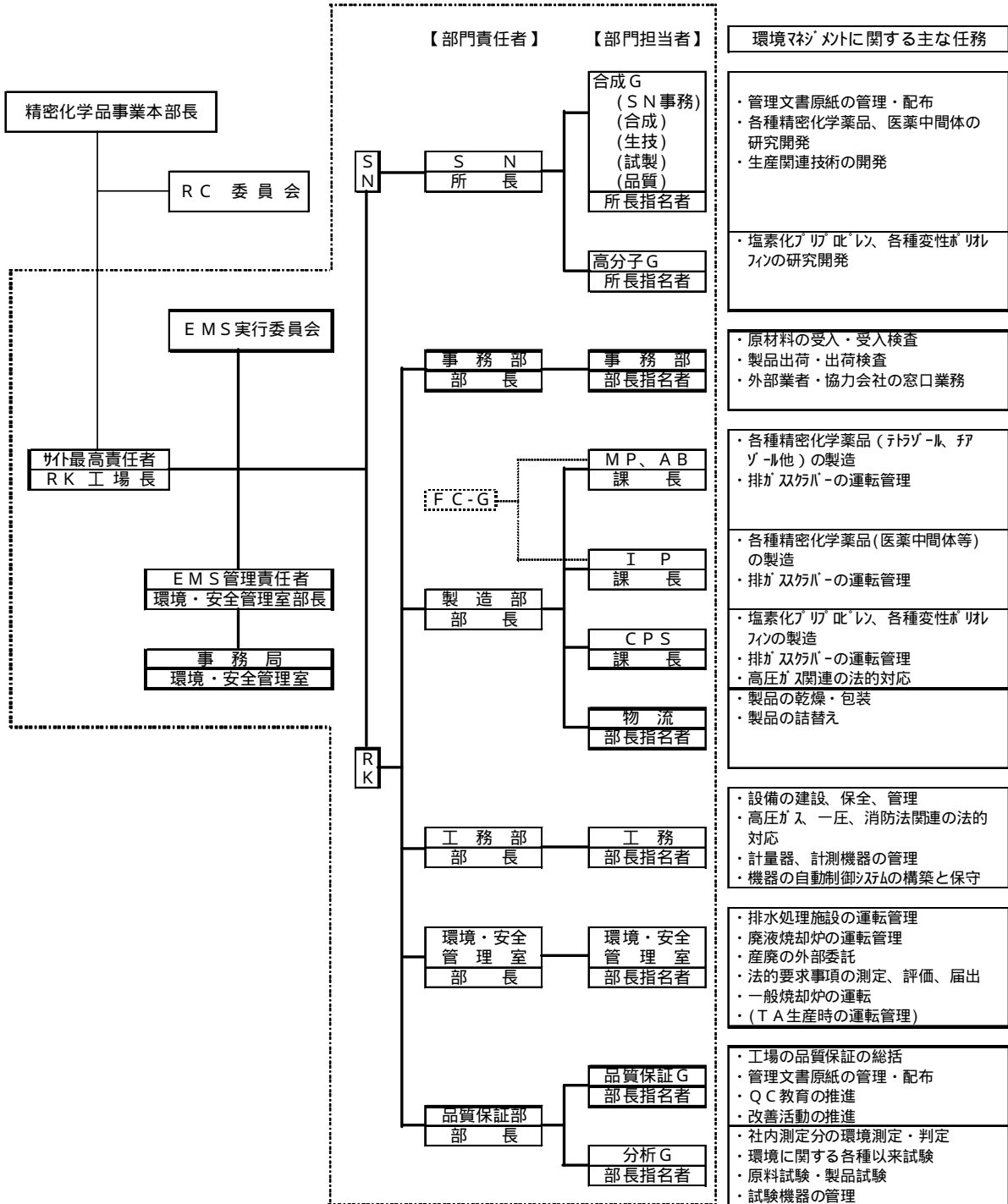
2 環境保全活動の実施状況等

項目	目標	計画、方策	取組結果	今後の取組計画
化学物質対策	漏洩の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質の保管、在庫管理の適正化 施設の維持管理 P C B 機器の適正保管 PRTR法による化学物質の排出量、移動量を把握 	<ul style="list-style-type: none"> 保管管理実施中 PM点検・保全実施中 6/15 2008年度保管状況報告書提出 2008年度PRTR報告書を6/3県へ郵送、6/5受領 11/20変更届出郵送、11/24受領 	漏洩の未然防止、保管・管理の適正化 低濃度PCBの適正な保管 PRTR法改正対応(2010年度より物質集計)
エネルギー対策	エネルギーの効率的な使用 CO2排出量の把握	<ul style="list-style-type: none"> 燃料等使用量の削減意識の向上 昼休みの消灯、適正な室温管理 月度の排出量の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 昼休みの消灯で437.7kw削減 月度の燃料使用量より算出 6/3 特定排出物質抑制実績報告書県へ郵送 CO2排出実績量 10,084kg(2008年度) 	エネルギーの効率的な使用 使用原燃料の削減
廃棄物対策	自社処理量 8,201t/年	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の再利用、再資源化の実施 適正処理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 廃油を燃料、廃アルカリを冷却剤として有効利用し、9,581.6t/年自社処理した。 	自社処理量 9,839t/年を目標とする
不法投棄防止対策	クリーン活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 事業所周辺の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 約1回/月天川沿い道路掃除の実施 2010.01月度のみ雨天の為中止。 	クリーン活動の実施
グリーン購入の推進	全事務用品購入金額の30%	<ul style="list-style-type: none"> 事務用品に関わるグリーン購入 再生紙の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 実績 43.4%(859.2千円) 	全事務用品購入金額の30%
環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムの維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ISO14001の維持審査対応 内部監査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 10.03.16-17にJCQAの審査を受審 6/8-26に1回目、12/7-18に2回目を実施 	環境マネジメントシステムの維持・改善
環境教育	環境保全に関する従業員教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全に関する従業員教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各職場で自職場の環境プログラム等の教育を実施 	環境保全に関する従業員教育の徹底
地域社会への参画	地域住民や行政が行う環境保全活動への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> 天満宮掃除(1回/年)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 2008.10.16実施、21名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 天満宮掃除(1回/年)の実施 他にも地域住民や行政等が行う活動に参加したい
環境コミュニケーション	環境情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> 環境情報の公開 	<ul style="list-style-type: none"> 親会社にデータを提出し、グループ企業として報告している。 3/1付けで親会社(東洋紡績)に吸収合併 	東洋紡績として環境報告書の作成に協力

EMS 実行組織図

高砂工場長

制定 '97.08.11
改定16 '10.03.12



1. 枠内が本マニュアルの適用範囲を示す。
2. 図中「RK」は高砂工場を、「SN」は精密化学研究所を示す。
3. 他に、「精密化学品質管理部」、「精密化学環境・安全管理部」があるが、活動の環境側面を助成し、「精密化学品質管理部」は品質保証Gに、「精密化学環境・安全管理部」は、環境・安全管理室に含めて運用する。